慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	村井
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1964
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.57, No.7/8 (1964. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小島栄次教授追悼特集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19640801-0162

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

三田経済学会はこの号を謹んで故小島栄次教授に捧げます。ここに筆をとられた方々は、先生にはすべてゆかりのある経済学会のメムバーの中から、とりわけ縁の深かった人達の代表とも申すべき方々です。

伝えられるところでは、先生は入院中、退院されたら、わが国の地方自治団体の問題をまとめようと考えられたとか。そうして、果されずして去られた。最近、あまたのわれわれの先達が、研究に多くの思いを残して逝かれた。

学問の道にある限り、終りはなさそうである。傍道に入らぬ限り、行きつくところはなさそうである。槍の担えるところまで歩まねばならぬようである。家業をついだある友人が語った。「父の死は悲しかった。しかし、それにも増して感じたことは、今度は自分の番だと、家業を担う重みがずしーんと肩に来たことだ」と。

われわれはマックス・ウェーバーではない。その上、槍の数がふえる度毎に、その重みが肩にくいこんでくる。何処まで担いうるかと。恐らく、よろめきながらも、先達のところへゆく迄は担いつづけねばならぬであろう。

（村　井）

昭和三十九年八月一日発行
© 三田学会雑誌　第五十七巻 第七・八合併号
定価　二四〇円（送料二四円）
東京都港区芝三田二丁目二番地
慶應義塾経済学会
編集兼発行人　代表者　遊部久蔵
電話三田（451）五一八一
振替口座番号　東京四四〇五六
東京都港区芝三田豊岡町八番地
印刷者　図書印刷株式会社　安倍七郎
半ヵ年予約購読料（送料共）　七二〇円
一ヵ年　〃　〃　一四四〇円
御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。
発売所　東京都高輪局区内三田網町一番地　慶應通信
振替口座番号　東京一五五四九七